

## 2024 年度入学生用『学生便覧』の誤植について

このたび、令和 6 年度入学生用の『学生便覧』について誤植がございましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。

お手数をおかけいたしますが、各自で訂正頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

教務部教務課

学部学科	該当ページ	訂正内容
全学部	p.60	附則 「なお」以下削除
総合福祉学部 福祉心理学科	p.97	表中【福祉心理学科】専門基幹科目の単位数を変更 26単位→32単位
総合福祉学部 福祉心理学科	p.113	専門基礎科目と専門基幹科目L群を切り離し、間に文言追加 以下の専門基幹科目から必修12単位を含め32単位以上を選択修得のこと
総合マネジメント学部 情報福祉マネジメント学科	p.108	グラフィックデザイン実習
総合福祉学部	p.181	(本文3行目) 夏期講習等を受ける実施している大学でそれを受講する方法 (本文8行目) これからの情報化社会に (表下文章3行目) 必ず履修登録期間直前までに実施される図書館実習ガイド ンスに
総合マネジメント学部	p.118	
教育学部	p.160	
健康科学部	p.171	
総合福祉学部	p.212	⑰地下1階 「各部・各課掲示場」削除 「実学臨床教育推進室」追加
総合マネジメント学部	p.148	
教育学部	p.182	
健康科学部	p.200	
総合福祉学部	p.216	「実学臨床教育推進室」削除
総合マネジメント学部	p.152	
教育学部	p.186	
健康科学部	p.204	
総合福祉学部	p.235	「実学臨床教育推進室」追加
総合マネジメント学部	p.171	
教育学部	p.205	
健康科学部	p.223	
総合福祉学部 福祉心理学科	p.179	臨床心理士（協会認定資格） 3段落目4段落目を差し替え ※詳細は別紙をご参照ください。  (修正後) 臨床心理士は、さまざまな分野で活動しており、例えば、スクールカウンセラーは文部科学省の実施要領では、選考にあたって「公認心理師」にならんで「臨床心理士」に該当する者が挙げられています。スクールカウンセラーを目指す場合は、公認心理師資格の取得はしない場合も、臨床心理士資格を取得するために指定大学院に進学することが選択肢のひとつとなります。 臨床心理士は、1988年の制定後長い歴史と実績を持ち、社会からの信頼を得てきました。そのため、国家資格である公認心理師が制定された後も、引き続き「公認心理師および臨床心理士の資格を有する」ことが求人条件として掲げられることが少なくありません。公認心理師資格とともに臨床心理士の資格を取得することで、よりよい就業機会に恵まれるといえます。先述の本学大学院臨床心理学分野に進学し定められた科目を履修することで、臨床心理士受験資格と公認心理師受験資格が取得できます。

## 7. その他

### 社会福祉士（国家資格）

この受験資格の希望者は、P.128～社会福祉士国家試験受験資格の項を参照してください。

### 精神保健福祉士（国家資格）

福祉心理学科の学生には、この受験資格を得ようとする者も少なくありませんが、希望者は、P.132～精神保健福祉士国家試験受験資格の項を参照してください。

### 養護教諭一種免許状

この資格の希望者は、P.158～教員資格の項を参照してください。

### 臨床心理士（協会認定資格）

「臨床心理士」とは、臨床心理学など心理学の知識や諸技法を生かして、人間の「こころ」の問題にアプローチする「心の専門家」のことです。仕事の内容には、主に、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理的地域援助、及びそれらの研究調査等があります。

臨床心理士の資格は、指定大学院修士課程において「臨床心理学」を専攻した後、「臨床心理士資格認定協会」の資格審査に合格することで得られます。本学大学院修士課程「福祉心理学専攻」内の「臨床心理学分野」は、資格認定協会より第一種指定大学院の認定を受けており、この分野を修了することで受験資格を得ることができます。

福祉心理学科には将来スクールカウンセラーを目指す学生も多くいます。文部科学省の規定では「公認心理師—臨床心理士」の資格を持っていることが基礎条件になっているので、スクールカウンセラーを目指す学生はまずは指定大学院に進学する必要があります。

また、本学科の卒業生には大学院進学後、臨床心理士の資格を取って精神病院や神経科クリニックなどのカウンセラー（サイコセラピスト、臨床心理技術者、心理相談員などの呼び方もある）として活躍している人が数多くいます。病院等のカウンセラーを目指す場合にも、まずは指定大学院に進学することが求められています。

※UNIPA【各種資料ダウンロード】の教務課掲載の「誤植訂正表」参照

### 臨床発達心理士（学会連合認定資格）

臨床発達心理士は、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本コミュニケーション障害学会の3学会によって運営されている「一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構」を認定団体とした、発達の臨床に携わる幅広い専門家に開かれた資格です。「発達をめぐる問題を査定したうえでの具体的な支援」「子どもから大人まで生涯にわたる支援」「家族・地域への広がりをもった支援」「子育て、気になる子ども、障害、社会適応などの問題への対応」などに専門性を有し、発達心理学の知見をベースにして、人の発達・成長・加齢に寄り添い、必要とされる援助を提供します。有資格者には研修の機会が豊富にあり、学びの場が提供されます。また、5年ごとの資格更新によって、常に高い専門性を保つことができます。

4年制大学を卒業するだけではこの資格を取得することはできません。申請条件には「発達心理学隣接諸科学大学院修士課程（博士前期課程）に在学している、または、修了後臨床経験が3年未満」「臨床経験3年以上」「公認心理師取得」など様々なタイプがあります。興味のある方は臨床発達心理士HP <https://www.jocdp.jp/> を参照してください。

#### （修正後）

臨床心理士は、さまざまな分野で活動しており、例えば、スクールカウンセラーは文部科学省の実施要領では、選考にあたって「公認心理師」にならんで「臨床心理士」に該当する者が挙げられています。スクールカウンセラーを目指す場合は、公認心理師資格の取得はしない場合も、臨床心理士資格を取得するために指定大学院に進学することが選択肢のひとつとなります。

臨床心理士は、1988年の制定後長い歴史と実績を持ち、社会からの信頼を得てきました。そのため、国家資格である公認心理師が制定された後も、引き続き「公認心理師および臨床心理士の資格を有する」ことが求人条件として掲げられることが少なくありません。公認心理師資格とともに臨床心理士の資格を取得することで、よりよい就業機会に恵まれるといえます。先述の本学大学院臨床心理学分野に進学し定められた科目を履修することで、臨床心理士受験資格と公認心理師受験資格が取得できます。